

いきいき協働事業評価シート

担当課用(環境保全課)

○ 協働事業の概要

記入年月日 平成27年3月31日

事業名	省エネ・創エネ関心度アップ事業(いきいき協働事業)
団体名	NPO法人こだいらソーラー
担当課名	環境保全課
事業期間	平成26年4月14日～平成27年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

市民目線での省エネ・創エネの取り組みに関する普及啓発として、本事業を実施した結果、環境に興味がある人だけでなく、関心のない市民に対して、きっかけづくりを提供できたことにより、きめ細かな普及啓発が図られたほか、広く市民にPRすることができた。普及啓発のひとつの手法として、今後大いに期待できる事業であった。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

専門性がある団体が事業を主体的に実施することで、団体のネットワークを効果的に活用した質の高いパネル展示ができたほか、イベント会場の装飾など手作りで作成することで気軽に参加できるような会場の雰囲気づくりができた。

市は、会場の確保や、プレスリリースを積極的に行うなど率先して広報を行った。イベントにおいても市の取組、市民団体の取組、市民ができる取組をパネル展示したことによりさまざまな視点から啓発できた。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

市と市民団体、双方に地球温暖化防止のため、「省エネルギーの推進」、「創エネルギーの導入」という明確な目的があり、お互いの役割を理解し、過度に依存することなく、事業を実施できた。事業の共有を図るため、メールでの連絡を頻繁に取り合いながら、必要に応じて打ち合わせを行うなどした。

④改善提案がありますか。

今回の事業では、以前から関わりがある団体との協働だったので、事業を進めやすかったが、全く関わりがない団体の場合、より一層コミュニケーションをとり、役割分担をはっきりし、情報共有や意見交換の機会を頻繁に設ける必要がある。

自由記載欄

単年度事業ではあったが、今後も市主催のイベント等でも協力して実施していきたい。また本事業を発展した形での事業を検討していきたい。